

一般社団法人

日本鳥学会

The Ornithological Society of Japan



－ 日本鳥学会 －

JEC意見への賛同について

日本鳥学会 鳥類保護委員会
副委員長 浦 達也

一般社団法人

日本鳥学会

The Ornithological Society of Japan



一般社団法人日本鳥学会について

- **設立**: 明治45年(1912年)5月3日
- **会員数**: 約1,200名
- **目的**: 日本では鳥類分野で唯一の学会として、鳥学の発展・鳥類保護への学術的貢献を行う
- **活動内容**:
 - 会誌「日本鳥学会誌」と「Ornithological Science」の発行
 - 大会の開催。年1回大会を開催し、研究成果の発表と討論、交流の場とする
 - 一般向けの講演会を開催、専門書の編集・発行
 - 関連学会や団体と連絡・提携

一般社団法人

日本鳥学会

The Ornithological Society of Japan



JEC意見への賛同について

発 出 元:日本環境会議(JEC)理事会

発出日時:令和6年度6月19日

文 書 名:<理事会意見書>世界自然遺産・知床における
携帯電話基地局と太陽光パネルの設置計画の
中止を求める

<http://www.einap.org/jec/article/pub/28/150>

一般社団法人

日本鳥学会

The Ornithological Society of Japan



JEC意見に対する趣旨賛同の表明

令和6年7月22日

世界自然遺産・知床における携帯電話基地局と太陽光パネルの設置計画の中止を求める意見への賛同について

一般社団法人日本鳥学会
鳥類保護委員会
委員長 澤祐介

日本鳥学会は、鳥学の発展および鳥類保全への学術的貢献を目的とする団体です。標記の件につきまして、令和6年6月19日付で日本環境会議（JEC）より世界自然遺産・知床における携帯電話基地局と太陽光パネルの設置計画の中止を求める意見書が発出されました。日本鳥学会では、本意見書の趣旨に賛同することを表明します。 https://ornithology.jp/iinkai/hogo/202407_Shiretoko_solar.pdf

一般社団法人

日本鳥学会

The Ornithological Society of Japan



賛同事由

日本環境会議(JEC)が令和6年6月19日に発出した理事会意見書にある
「・国立公園/世界自然遺産の生物多様性と風致景観の保全に大きな懸念がある。
・絶滅危惧Ⅱ類のオジロワシなどへの影響が強く懸念される。
ことから、本件事業は中止するべきである」について、
世界自然遺産・知床は、上述のオジロワシの他、国際的な希少種である
シマフクロウ、オオワシシなどの種の存続に不可欠な場所でもあるとされ、
今回の事業がこれらの鳥類へ重大な影響を与えうることから、日本鳥学
会鳥類保護委員会として当該意見書に賛同するものである。(R6.7.22)